

## バイオマス産業都市推進協議会 2021年度事業報告 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

本協議会は、農林水産省補助事業の支援を得て、2014年7月23日にバイオマス産業都市選定地域で構成される「バイオマス産業都市連絡協議会」として発足し、バイオマス産業都市の構想の実現に資するため、構想実現に向けた課題及び対応策の情報共有を行うとともに、バイオマス産業都市として選定された地域間のネットワーク化を目的として活動してまいりました。

2021年度、本協議会の会員は2022年3月末の時点で181会員（正会員95、賛助会員66、オブザーバー（学識者を含む）20）となり、2021年度末に比べ10会員（正会員7、賛助会員3）の加入がありました。今後も引き続き会員の獲得に向けた活動を行う予定です。

本協議会の運営においては、①会員との情報の共有化と連携 ②理事会の意向の反映 ③バイオガス部会運営幹事会及び木質バイオマス部会運営幹事会では、資源エネルギー庁主催の再生可能エネルギー関連委員会等での要望内容等の検討、バイオマス関係7府省への政策提言の原案作成情報収集や協議を行いました。

2021年度の推進協議会の主な活動は、総会1回（6月）、理事会3回（5,9,2月）、部会（バイオガス部会運営幹事会及び木質バイオマス部会運営幹事会）（4,5,7,11,12,2月）の活動を行いました。

また、バイオマス関係7府省からの情報提供とシンポジウムは例年通り2月に開催した他に、バイオマス関係府庁との意見交換会や国際バイオマス展等にブース出展も行いました（9,11,3月）。

また、今年度の新たな試みとして、会員向けの勉強会（9月）を開催しました。

但し、2021年度も2020年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で多数の会員が一堂に集合した会合は実施せず、総会は文書審議とし、当初計画しておりました京都市の先進事例視察会及び新規バイオマス産業都市選定地域との情報交換会は中止としました。また、理事会や部会運営幹事会は通常の見合の会議とZoomによるオンライン会議の併用としました。

### 1. 会員の状況

2021年度における会員の増減は次の通りです。

会員区分	2021年4月1日	2022年3月31日	増減
正会員	88	95	7
賛助会員	63	66	3
オブザーバー	20	20	0
合計	171	181	10

### 2. 会務の運営

#### (1) 総会（1回開催）

##### 1) 第4回総会（文書審議）

審議期間：2021年6月16日（水）～7月21日（火）

審議内容：

第1号議案 バイオマス産業都市推進協議会2020年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 バイオマス産業都市推進協議会役員の選任について

文書審議結果：

正会員数 93会員（バイオマス産業都市選定地域 93自治体）

文書審議提出 93会員（バイオマス産業都市選定地域 93自治体）

議案賛否

- ① 第1号議案：バイオマス産業都市推進協議会 2020年度事業報告及び収支決算等について 賛成93、反対0
- ② 第2号議案：バイオマス産業都市推進協議会 役員の選任について 賛成93、反対0  
上記の通り、全ての議案について、全員の賛成をもって可決。

## (2) 理事会（3回開催）

### 1) 第7回理事会

開催日時：2021年5月26日（水）10時00分～12時00分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：第4回総会の議案についての検討及び事業を円滑に進めるための審議

出席者：理事5名（本人出席3名代理人2名）

議事次第：

- ① バイオマス産業都市推進協議会 2020年度事業報告及び収支決算について
- ② バイオマス産業都市推進協議会 役員の選任の改正について
- ③ バイオマス産業都市推進協議会 第4回総会の開催について



第7回理事会（オンライン会議）

### 2) 第8回理事会

開催日時：2021年9月22日（水）13時00分～15時00分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：今後の事業を円滑に進めるための審議

出席者：理事5名（本人出席4名代理人1名）

議事次第：

- ① 2021年度事業中間報告と今後のスケジュールについて（審議事項）
- ② バイオマス関係7府省からの情報提供、部会について（審議事項）
- ③ バイオマス産業都市推進シンポジウムについて（審議事項）
- ④ 2022年度事業計画について

### 3) 第9回理事会

開催日時：2022年2月4日（金）10時00分～12時00分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：今後の事業を円滑に進めるための審議

出席者：理事7名（本人出席5名 代理人2名）

議事次第：

- ① バイオマス産業都市推進協議会 2021年度中間報告と今後の予定について（報告事項）
- ② 2021年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書（案）について（審議事項）
- ③ 2022年度事業計画及び収支予算（案）について（審議事項）

### （3）監査（文書審議）

監査期間：2021年6月1日（火）～6月15日（火）

監査方法：文書審議による監査

監査内容：2020年度の事業報告及び収支決算についての監査

## 3. 事業活動

### （1）部会（7回開催）

#### 1) バイオガス部会第4回運営幹事会

開催日時：2021年4月20日（火）13時30分～15時30分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：メタン発酵バイオガス発電事業の推進方策

出席者：23名（自治体会員5名、企業・団体会員9、オブザーバー4名、事務局5名）

WEB参加者も含む



バイオガス部会第4回運営幹事会

#### 2) バイオガス部会第5回運営幹事会

開催日時：2021年5月25日（火）15時00分～17時00分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：FITからFIPへ移行した場合の設備費等のコスト試算について

売電利益を拡大するために積極的にFIPへ移行する場合の設備費等のコスト試算について

出席者：29名（自治体会員8名、企業・団体会員12名、オブザーバー4名、事務局5名） WEB参加者も含む



バイオガス部会第5回運営幹事会

### 3) 木質バイオマス部会第4回運営幹事会

開催日時：2021年7月6日（火）13時30分～15時30分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：木質バイオマス部会運営幹事会の活動方針について

出席者：21名（自治体会員7名、企業・団体会員6名、オブザーバー3名、事務局5名）  
WEB参加者も含む



木質バイオマス部会第4回運営幹事会

### 4) バイオガス部会第6回運営幹事会

開催日時：2021年11月30日（火）14時00分～16時30分

開催場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 603会議室

（東京都中央区八丁堀1-9-8 八重洲通ハタビル6F）

※Zoomによるオンライン会議も同時開催

議事内容：2021年度バイオマス産業都市推進協議会 提言書案について

出席者：26名（自治体会員7名、企業・団体会員12名、オブザーバー2名、事務局5名） WEB参加者も含む



バイオガス部会第6回運営幹事会

#### 5) 木質バイオマス部会第5回運営幹事会

開催日時：2021年12月2日（木）14時00分～16時30分

開催場所：スペースまる八 会議室 AB（東京都中央区日本橋茅場町1-12-2）

Zoomによるオンライン会議も併用

議事内容：2021年度バイオマス産業都市推進協議会 提言書案について

出席者：19名

（自治体会員6名、企業・団体会員7名、オブザーバー1名、事務局5名）

WEB参加者も含む



木質バイオマス部会第5回運営幹事会

#### 6) 第7回バイオガス部会

開催日時：2022年2月3日（木）10時30分～12時30分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：2021年度提言内容を検討

#### 7) 第6回木質バイオマス部会

開催日時：2022年2月3日（木）15時45分～17時45分

開催方式：Zoomによるオンライン会議

議事内容：2021年度提言内容を検討

## (2) バイオマス関係7府省からの情報提供

開催日時：2022年2月3日（木）13時30分～15時35分

会議方式：Zoomによるオンライン会議

13時35分～13時50分

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 企画官（バイオ） 宇井 伸一 氏

13時50分～14時05分

総務省 地域力創造グループ地域政策課 企画第二係長 酒川 高志 氏

14時05分～14時20分

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課 課長補佐 吉元 拓郎 氏

14時20分～14時35分

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課長 秋葉 一彦 氏

14時35分～14時50分

環境省 地球環境局 地球温暖対策課 係長 福田 智也 氏

14時50分～15時05分

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道企画課 資源利用係長 藤岡 勝之 氏

15時05分～15時20分

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課  
課長補佐 菊野 泉 氏

### （3）バイオマス産業都市推進シンポジウムの開催

専門家による講演の他に、バイオマス産業都市の山形県飯豊町と岡山県西粟倉村における取組事例の発表と協議会関係者によるパネルディスカッションを実施しました。

今回のシンポジウムは当初、日比谷図書文化館の大ホールで対面式で開催する予定でしたが、開催の直前になって新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたことから、急遽 Zoom によるオンライン方式に変更し開催しました。

開催日時：2022年2月4日（金）13時00分～16時30分

開催方式：Zoomによるオンラインシンポジウム

プログラム

開会挨拶 13時00分～13時05分

第1部 講演・事例報告 13時05分～15時05分

○基調講演 13時05分～14時05分

「バイオマス発電システムの高度化 燃焼の高付加価値化とエネルギー貯蔵との統合」

東京農工大学大学院 工学研究院 応用化学部門 教授 伏見 千尋 氏

○一般講演 14時05分～14時35分

「脱炭素先行地域の選定について」

環境省 大臣官房 環境計画課 課長補佐 三田 裕信 氏



## ○事例報告

バイオガス部門 14時35分～14時55分 山形県飯豊町  
木質バイオマス部門 14時55分～15時15分 岡山県西粟倉村

第2部 パネルディスカッション 「バイオマス事業の課題と今後の展望」  
15時25分～16時25分

パネリスト：第1部ご登壇者

コーディネーター：バイオマス産業都市推進協議会 会長・北海道興部町長 裕 一寿 氏  
閉会 16時30分



パネルディスカッションの様子

## (4) 2021年度バイオマス産業都市構築の推進に関する提言書の提出

2022年2月3日の部会で議論された意見を集約し、バイオマス産業都市推進の構築に関する提言書を取り纏めました。提言書案は全協議会会員へ回覧し、意見の反映等について調整した後、2022年3月25日に裕会長、太田副会長、喜井理事、曾根理事により、農林水産省、経済産業省、環境省、国土交通省、総務省へ提言書を提出しました。なお、日程の関係で3月28日に文部科学省、3月31日に内閣府へ事務局により提言書の提出を行いました。

### <提言骨子>

#### 【バイオマス産業都市構築に関わる施策の継続と強化について】

一、バイオマス産業都市に選定された市町村の数は97まで増加したが、本格的なバイオマス産業都市の構築に向けた施策を継続して頂きたい。また、構想の事業化支援、先行地域の取組の横展開、停滞気味の地域に対するハンズオン支援の強化、バイオマス産業都市に選定されていることによる価値の発揮を進めて頂きたい。

#### 【FIT関連について】(経済産業省)

一、バイオマス発電が、地域における農林水産業資源の活用により、エネルギーの地産地消を通じ、農山村の産業の振興、地域の活性化等に寄与するものであることを踏まえ、引き続き、その特質に応じた制度運用にご配慮

を頂きたい。

- 一、バイオマス発電事業等に関わる事業者に対する国、県の審査及び支援については事業経営の安定性・健全性を十分に考慮して頂きたい。
- 一、バイオマス発電のノンファーム型接続においては、系統混雑時の出力制御に関する条件について明確に示すとともに、条件の変更に際しては2年程度の助走期間を持たせる制度にして頂きたい。
- 一、出力制御のオンライン化については、バイオマス発電の特質を踏まえた対策を検討して頂くとともに、必要な設備導入の情報提示と導入のための資金支援をして頂きたい。
- 一、今後、FIT 売電を終了する施設が徐々に増えてくる中、地域内のバイオマス利活用推進のため、施設更新に関する補助等の支援をお願いしたい。
- 一、バイオマス熱利用及び熱電併給の推進に関する支援をお願いしたい。
- 一、ポスト FIT を見据えたバイオガスの直接利用の普及拡大に繋がる支援をお願いしたい。
- 一、FIP の導入に伴うアグリゲーターの育成等、FIP の活用推進に関する支援をお願いしたい。

#### 【脱炭素先行地域関連等について】（環境省）

- 一、脱炭素先行 100 地域の選定に当たっては、省庁の方針に基づき温暖化対策に資する構想や計画を提出して認定されているものは、バイオマス産業都市構想を含めて、何らかの加点措置を講じて頂きたい。
- 一、バイオマス活用による温室効果ガス削減効果について、貢献を公式に表明できる LCA 等の手法による簡易な算出方法を示して頂きたい。
- 一、2030 年カーボンニュートラル実現に向けて、それぞれのバイオマス利活用事業に関する CO2 削減効果を誰もが算出できるためのツールの整備をお願いしたい。
- 一、バイオマス由来の熱を地域で使うための需給マッチングについて、用途別の温度帯や量を含めて、地域で活用できる情報を整備して頂きたい。
- 一、バイオマス産業都市が実施する木質バイオマスの排熱利用等、化石燃料の削減を目的とした温暖化対策事業について支援をお願いしたい。
- 一、既設設備の延命化は脱炭素に貢献することから、設備延命等の支援をお願いしたい。
- 一、バイオマス産業都市におけるバイオマス事業の推進は CO2 削減に大きく貢献することから、カーボンプライシングにより得られた資金が自治体に還元されるような仕組みの構築をお願いしたい。

#### 【バイオマス関連の技術開発について】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・文部科学省）

- 一、現状では、バイオマス利活用技術に関しては、まだまだ海外製への依存が高く国内の地域に対応した利活用が進んでいないことから、国内メーカーにおけるメタン発酵装置、ガスエンジン、広葉樹の伐採機、バイオ炭製造装置等の高効率化に関する技術開発、ならびに自治体と国内メーカーが協力して実証を行う仕組みについての支援をお願いしたい。
- 一、ボイラーに関する規制緩和に伴い、カーボンニュートラルに貢献する木質バイオマスボイラーの導入拡大が期待されることから、木質バイオマスボイラーの導入の措置や国産の木質バイオマスボイラーの技術開発の支援をお願いしたい。
- 一、バイオ液肥の濃縮は輸送・散布のコストや CO2 排出の削減に繋がることから、濃縮技術の開発支援を加速化して頂きたい。



- 一、「プラスチック資源循環戦略」において、2030年までにバイオマスプラスチックを200万トン導入することを目標に掲げている。この目標を達成させるために、早期に実証スケールでの微細藻類を活用したバイオマスプラスチック製造等に関する技術開発支援とバイオマス由来のプラスチック製造に必要な原料の国産化を促進する施策を講じて頂きたい。
- 一、グリーン成長戦略の資源循環関連産業の取組として、「ごみ質の多様性に対応したバイオガス施設の技術実証事業を進めるとともに、下水道バイオマス利活用推進の下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業の充実など地方公共団体における案件形成促進を2025年度まで集中的に取り組む」ことや地域の社会インフラとしての機能を高めた廃棄物処理施設の整備等が掲げられているが、その進捗状況について教えて頂きたい。
- 一、航空機燃料（SAF）の国内確保に向けて、非食用の資源作物や微細藻類の生産、廃食用油の利用等の施策を検討頂きたい。また、廃食用油については、貴重な資源であるという観点から、外国へ流出させるのではなく、バイオディーゼル燃料のB5における車両燃料利用に加えて、第1次産業でのB100利用等の多様な用途での利用を支援頂きたい。
- 一、国のSDGs政策、2050年カーボンニュートラルの達成及び炭素貯留に大きく貢献することが期待されるバイオ炭の技術開発と利用推進のより一層の支援をお願いしたい。

【その他】（農林水産省・経済産業省・環境省・国土交通省・総務省・内閣府）

- 一、下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥は現行では有機農産物に使用可能な資材として認められていないことから、下水汚泥由来のバイオマスを原料とする堆肥やバイオ液肥及び乾燥汚泥が有機農業で使用可能となる措置をお願いしたい。
- 一、バイオ液肥は現行の肥料登録における区分では個別の項目がないことから、新たにバイオ液肥の項目を追加して頂きたい。
- 一、荒廃農地等復旧利用が困難な農地で資源作物を栽培して燃料化につなげる取組については、食料競合の議論から切り離して頂きたい。
- 一、荒廃農地等復旧利用が困難な農地における広葉樹・早生樹及び資源作物の集約的な栽培や活用推進を行う施策を講じて頂きたい。
- 一、将来を見渡して、廃食用油の国内用途について、国益に資する方法の議論を加速化して頂きたい。
- 一、バイオマス施設等に関しては、試運転後の実際の運用等について、メーカー等の技術者から現場の管理者への人材育成が必要不可欠であるため、施設が安定的に稼働するまでの約2年間の人材育成費用を支援頂きたい。



農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課



経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課

## (5) 勉強会

バイオマスに関する情報提供の一環として本協議会会員限定の勉強会を実施しました。

### 1) 第1回勉強会

開催日時：2021年9月22日（水） 15時30分～17時55分

場 所：馬事畜産会館第2・3会議室（東京都中央区新川2-6-16）

Zoomによるオンライン勉強会も併用

題 目：

「アグリゲーショビジネスについて」

一般社団法人小水力開発支援協会 代表理事 中島 大 氏

「バイオマスエネルギー地域自立システム化実証事業におけるNEDOの取組と今後」

新エネルギー技術総合開発機構 バイオマスグループ 堀田 瑛人 氏

「NEDO ガイドラインツールの使い方について」

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社 グローバルイノベーション&エネルギー部  
グローバルイノベーションチーム 石井 伸彦 氏

「バイオガス発電施設におけるブラック対応事例について」

フロー株式会社 代表取締役 須藤 貴宣 氏

出席者 : 50名

## (6) バイオマス関係省庁との意見交換会

それぞれのバイオマス産業都市における現状と課題、農林水産省のみどりの食料システム戦略及び環境省の脱炭素先行地域に関する意見交換会をそれぞれ行いました。

### 1) 農林水産省との意見交換会

開催日時：2021年11月9日（火）13時30分～15時00分

会場：農林水産省会議室

出席者：16名

#### ・バイオマス産業都市推進協議会（敬称略）

会長：北海道興部町 町長 碓 一寿

理事（バイオガス部会 部会長） 北海道 鹿追町 町長 喜井 知己

木質バイオマス部会運営幹事 山形県 最上町 町長 高橋 重美

理事（木質バイオマス部会 部会長） 群馬県 上野村 村長 黒澤 八郎

木質バイオマス部会運営幹事 岡山県 西粟倉村 村長 青木 秀樹

随行者：群馬県 上野村 振興課 係長 黒澤 力

#### ・農林水産省（敬称略）

大臣官房 環境バイオマス政策課長 秋葉 一彦

大臣官房 環境バイオマス政策課 課長補佐 溝添 正一

大臣官房 環境バイオマス政策課 係長 加藤 久幹

大臣官房 環境バイオマス政策課 係長 門間 強志

林野庁 森林整備部 計画課 施工企画調整室長 赤羽 元

林野庁 林政部 木材利用課 課長補佐（木質バイオマス推進班担当） 山下 孝

#### ・事務局（敬称略）

一般社団法人日本有機資源協会 会長 牛久保 明邦

一般社団法人日本有機資源協会 専務理事 柚山 義人

一般社団法人日本有機資源協会 事務局長 嶋本 浩治

一般社団法人日本有機資源協会 事務局主幹 土肥 哲哉

議事次第：

① 2022年度 バイオマス関連予算

みどりの食料システム戦略推進総合対策におけるバイオマス事業について

② バイオマス産業都市選定地域のそれぞれのバイオマス事業展開に関する要望等  
議事内容：

- ・みどりの食料システム戦略の事業概要とバイオマス事業推進に関する意見交換
- ・バイオマス産業都市選定100地域達成以降のバイオマス産業都市選定等に関する意見交換を行った。



農林水産省との意見交換会

## 2) 環境省との意見交換会

開催日時：2021年11月9日（火）15時30分～17時00分

会場：環境省会議室

出席者：13名

- ・バイオマス産業都市推進協議会（敬称略）  
会長：北海道興部町 町長 碓 一寿  
理事（バイオガス部会 部会長） 北海道 鹿追町 町長 喜井 知己  
木質バイオマス部会運営幹事 山形県 最上町 町長 高橋 重美  
理事（木質バイオマス部会 部会長）群馬県 上野村 村長 黒澤 八郎  
木質バイオマス部会運営幹事 岡山県 西粟倉村 村長 青木 秀樹  
随行：群馬県 上野村 振興課 係長 黒澤 力
- ・環境省（敬称略）  
大臣官房 環境計画課長 松田 尚之  
大臣官房 環境計画課 総括課長補佐 三田 裕信  
地球環境局 地球温暖対策課 脱炭素ビジネス推進室 室長補佐 新原 修一郎
- ・事務局（敬称略）  
一般社団法人日本有機資源協会 会長 牛久保 明邦  
一般社団法人日本有機資源協会 専務理事 柚山 義人  
一般社団法人日本有機資源協会 事務局長 嶋本 浩治  
一般社団法人日本有機資源協会 事務局主幹 土肥 哲哉

議事次第：

① 2022年度予算におけるバイオマス関連事業について

② バイオマス産業都市選定地域のそれぞれのバイオマス事業展開に関する要望等  
議事内容：

- ・脱炭素先行地域の概要と選定条件に関する意見交換  
各バイオマス産業都市におけるバイオマス事業推進は選定条件を満たしていることから、脱炭素先行地域の選定では加点等により優位になるよう要望した。
- ・バイオマス産業都市間で地域循環共生圏を展開する際の効果等についての意見交換



環境省との意見交換会

## (7) 国際バイオマス展におけるブース出展

バイオマス産業都市推進協議会の賛助会員の取組を広報することを目的として RXJapan(株)が主催する国際バイオマス展及び関西バイオマス展にブース出展を行いました。

### 1) 国際バイオマス展 (秋展)

開催期間：2021年9月29日(水)～10月1日(金)

開催会場：東京国際展示場(東京ビックサイト) 青海展示棟



会場の様子 (2021年9月29日)

## 2) 関西バイオマス展

開催期間：2021年11月17日（水）～11月19日（金）

開催会場：インテックス大阪1号館

## 3) 国際バイオマス展（春展）

開催期間：2022年3月16日（水）～3月19日（金）

開催会場：東京国際展示場（東京ビックサイト）



セミナー講演の様子（2022年3月16日）

以上



## バイオマス産業都市推進協議会 2021年度収支決算


(単位:円)

科目	予算額	決算額	説明
<b>I. 事業活動収入</b>			
1. 会費収入(2021年度)	4,230,000	3,710,000	正会員93、賛助会員64
会費収入(2020年度)	0	40,000	賛助会員2
2. 事業収入		0	
先進事例視察収入	300,000	0	新型コロナウイルス感染症のため、今年度は中止
3. 雑収入	0	0	
銀行利息	0	59	
<b>事業活動収入計 (A)</b>	<b>4,530,000</b>	<b>3,750,059</b>	
<b>II. 事業活動支出</b>			
1. 管理費支出	2,960,000	2,151,047	
会議費	600,000	9,425	会場代、飲料代等
通信運搬費	40,000	31,559	郵便及び宅急便代、振込手数料等(JORA立替分含む)
消耗品費	20,000	21,604	
印刷費	500,000	288,459	資料印刷、用紙代(JORA立替)
事務処理委託費	1,800,000	1,800,000	150,000円×12か月
その他	0	0	
2. 事業費支出	1,260,000	414,427	
部会活動費	300,000	142,197	部会会場代・飲料代、勉強会会場代・講師謝金
先進事例視察開催費	300,000	0	新型コロナウイルス感染症のため、今年度は中止
シンポジウム開催費	600,000	136,000	会場代、講師謝金(会場キャンセルは返金なし)
ホームページ運営費	60,000	60,000	5,000円×12か月
その他	0	76,230	展示会出展レンタル代、ポスター代
3. 予備費	310,000	0	
<b>事業活動支出計 (B)</b>	<b>4,530,000</b>	<b>2,565,474</b>	
当期収支差額 (C=A-B)	0	1,184,585	
前期繰越収支差額 (D)	4,394,098	4,394,098	
次期繰越収支差額 (E=C+D)	4,394,098	5,578,683	

# 監 査 報 告 書

バイオマス産業都市推進協議会  
会 長 裕 一 寿 様

2022年 6 月 9 日  
バイオマス産業都市推進協議会

監 事 上 崎 勝 規 

バイオマス産業都市推進協議会の2021年度（2021年4月1日から  
2022年3月31日まで）における事業及び会計について、2021年度  
事業報告書及び収支計算書に基づき監査した結果、事業の執行は適切であり、  
会計処理は適正、かつ正確であることを認めます。

以上